

1 園の教育目標

幼児ひとりひとりの発達を見つめながら、主体的な活動を促し、遊びを通して豊かな体験を積み重ね、心身共に健康な子どもの育成を目指します。

本園の目指す幼児象として3項目を掲げる

①明るく元気な子（心身の健康）

②自分で考え自分でする（自立心の芽生え） ③仲よく助け合う子（社会性の基礎）

2 本年度定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した園評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評 価 項 目	取 組 状 況
幼稚園教育要領に基づき子どもの実態などをもとに考えて作成している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするよう努めている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	教師は日々の記録を参考にして子どもの実態を把握し、月案・週案に反映させるようにしている。
学期ごとに各クラスの気になる子の現状と課題を報告する。	気になる子の目標の達成状況を職員全員で話し合い共有する。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	ひとりひとりの子どもの良さを認め、教師が客観的に子どもを見る目を養うように努めている。
遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	自分で工夫して遊び、それが発展して友達と協力して遊べる環境を準備するようにしている。
規則正しい生活習慣の定着に向けて指導を行う。	登園から降園までの一日の流れの中で、身に付けて欲しい生活習慣の獲得を促している。特に、朝ごはんの大切さを意識させるよう促す。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供などを行う。	各種研修会に参加し学んだことを資料にまとめ職員会等において提供し、共有化を図るようにしている。
園だより、学年便り、ブログ、インスタを通して幼稚園の情報を発信していく。	園の教育方針や取組を情報発信するように積極的に取り組んでいく。
教育目標や短期経営目標を連鎖した評価項目を作成。実施・反省・対応のサイクルを確立する	P D C A サイクルを常に念頭におき、更に充実した教育にするように努める。

4 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
A	・教師一人ひとりが園評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいる様子が見られた。今後も客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、更に充実した実践ができるように努力を積み重ねてほしい。 ・職員室の雰囲気もととてもよく、教職員一丸となり子ども達の成長を見守っている。 ・施設面では、残り4クラスの床の張替を、北側カーテンの取り付け、屋上の防水工事、2階廊下にエアコン1台設置・2階廊下の窓の飛散防止フィルム貼付けなどを行った。現在3か所のエアコンの入替工事实施中。子ども達が安心、安全に遊べる環境になるよう日々点検を行っており、概ね目標を達成できた。

5 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 り 組 み 方 法
情報公開の方法	現在園だより、学年だより、参観日、ホームページに取り込んだ幼稚園ブログ、一昨年から始めたインスタグラムなどを通して保護者への周知を行っており、概ね好評であることから今後も積極的に、但し個人情報に注意しながら情報公開に取り組んでいく。
自己点検・自己評価	最低限やるべき基本の項目を点検課題として挙げているので各教職員においてはさらに課題を上げるようにして自己研鑽に取り組むようにしていく。
指導計画の編成	教育要領に基づいた指導計画の作成のために訂正、加筆し、園を取り巻く環境や気候変動、子どもの実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。

6 学校関係者評価委員会の意見

R 8 年 3 月 2 5 日実施

出席者：保護者会会長 阿部美奈子・副会長 高橋江里・書記 右谷夏沙・小原由香 会計 桜岡愛・会計監査 須貝晶子・幼稚園評価委員 渡邊孝・園長 木村由希・教頭 大坂真弓・主幹教諭 笹木真紀 計10名

今年度の委員からはおおむね良好な運営をされ、園評価にも積極的に取り組まれているという意見を頂いた。